

2008年12月26日
東レ株式会社

欧州で自動車向けに炭素繊維複合材料部品を開発・生産 ドイツのCFRP部品成形メーカーに資本参加

東レ株式会社（本社：東京都中央区、社長：榊原 定征、以下「東レ」）は、このたび、炭素繊維複合材料の自動車分野における事業拡大を図るべく、欧州にCFRP部品（CFRP: Carbon Fiber Reinforced Plastics）の現地開発・生産拠点を設置することを決定しました。本年12月に、ドイツのCFRP部品メーカー ACE Advanced Composite Engineering GmbH（ACE・アドバンスト・コンポジット・エンジニアリング社、本社：ドイツ・インメンシュタット市、以下「ACE社」）に資本参加します（出資比率：21%）。自動車分野でCFRP部品の採用が先行している欧州市場で現地開発・生産を手掛けることにより、将来飛躍的な成長が期待される自動車用CFRP部品事業の本格拡大を目指します。

ACE社は2001年に設立されたドイツのCFRP部品メーカーで、高級車やトラック等のCFRP部品を開発・生産・販売しています。同社は自動車用CFRPの部品設計、成形加工をはじめ、金型治具製作、機械加工などにおいて高い技術力を有しており、欧州の主要自動車メーカー各社から高い評価を得ています。

これまで自動車外板用のCFRP部品は、従来からの製法であるプリプレグ成形で生産されてきましたが、成形時間が長くコストも高いことから、採用は生産台数がごく少量で市場価格が非常に高いスーパーカーに限られていました。しかし自動車メーカーでは、昨今の地球環境問題への対応として車体のさらなる軽量化が急務となっており、CFRP部品を本格採用する機運が高まっています。高級車領域における本格普及に向けてCFRP成形技術の革新が求められる中、年産10,000台規模の中量産車種に対応できるRTM（Resin Transfer Molding）成形技術が今後の主流になりつつあります。東レは今回の資本参加を通じてACE社との技術交流を深め、当社独自のRTM成形技術とACE社の優れた技術を融合することにより成形技術の更なる革新と開発期間の短縮を図り、CFRP部品の量産車種への本格採用を加速させていきます。

東レは、「自動車・航空機」分野を重点事業領域の一つと位置づけ、同分野向けに積極的に経営資源を投入しています。現在、その一環として名古屋事業場（愛知県名古屋市）に「自動車・航空機」分野向けの総合技術開発拠点「A&Aセンター（Automotive & Aircraft Center）」の整備を進めています。この「A&Aセンター」において、本年10月の「オートモーティブセンター（AMC）」の開所に続き、来年4月に「アドバンスト・コンポジット・センター（ACC）」を開所する予定です。ACCでは、RTM成形技術を進化させた「ハイサイクル成形技術」の実用化等を進める一方、量産車種への適用に向けて熱可塑樹脂を用いた次世代コンポジットの開発を加速します。こうした日本における開発体制整備に加えて、ACE社を欧州におけるCFRP開発拠点と位置づけ、グローバルな開発体制の下で自動車用CFRP部品の開発を推進していきます。東レは自動車分野におけるCFRP部品の本格普及を加速させることで、2015年近傍に同分野向けのCFRP部品事業の売上高を500億円規模に拡大する計画です。

東レは現在、中期経営課題 Innovation TORAY 2010 (IT・2010) の基本戦略の一つとして「重点4領域への先端材料の拡大」を推進しています。東レは、重点領域の一つにあたる「自動車・航空機」分野に向けた先端材料事業の強化・拡大を図り、高収益企業への転換を加速して参ります。

以上

ACE 社概要 (2007 年末現在)

1. 社 名 : ACE Advanced Composites Engineering GmbH
2. 事業内容 : 自動車部品その他の設計、試作、開発、製造、販売
3. 所在地 : ドイツ インメンシュタット市
4. 設 立 : 2001 年 1 月
5. 資 本 金 : 70 千ユーロ (約 9 百万円)
6. 出資比率 : 東レ 21%、その他 79% (2008 年 12 月末現在)
7. 売上高 : 5,806 千ユーロ (約 7.5 億円)

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

東レ(株)広報室 TEL : <東京>03-3245-5179 <大阪>06-7688-3085